

2017春季生活闘争 年末手当の悔しさをぶつけよう！

2016年度第1四半期・第2四半期と好調な経営状況のなか、昨年の年末手当では3.18ヶ月と低額回答であった。私たちの3.6ヶ月要求と大きくかけ離れており悔しい思いをした。この悔しい思いをぶつけるために、2017春闘では満額要求を勝ち取るために全社員で向かっていかななくてはならない。

本来春闘は、労使で行うものである。しかし、最近では官製春闘と言われ政府が主導的になって賃上げを訴えている。JR東日本で働く一人ひとりが職場から声を出して、全体の取り組みとしていこう。

ベースアップをするということは私たちの年取がその分アップする。会社の業績がよいということは、私たちの生活はもっと豊かになっていかないとおかしい。この好業績のなかだから訴えていこう。

JR東日本で働く全社員の力を結集し 満額に向け頑張っていこう！